

機関番号：22501

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2010

課題番号：20791759

研究課題名（和文）市町村に所属する中堅保健師の施策化に関わる
実践能力育成プログラムの開発研究課題名（英文）DEVELOPMENT OF THE MEASURE TO IMPROVE PRACTICE CAPABILITY ON THE PROGRAM
DEVELOPMENT FOR MID-CAREER MUNICIPAL PUBLIC HEALTH NURSES

研究代表者

細谷 紀子（HOSOYA NORIKO）

千葉県立保健医療大学・健康科学部・講師

研究者番号：60334182

研究成果の概要（和文）：施策化に関わる中堅保健師に必要な能力は、施策の必要性や内容を考える思考力と施策の考案や実現を可能にする手段の技術と実行力に大別され、前者の能力が基盤となり後者の能力が加わると施策の実現が可能になる。施策の必要性や内容を考える思考力の育成では、対策を講じなかった時のヘルスリスクの重大性を予測する力と自律的発展的な地域のシステム構築を志向する力の育成が特に重要であり、施策の考案や実現を可能にする手段の技術と実行力の育成には、中堅保健師が一定の責任を持つ立場で施策化を実践する機会を確保することが最も有効である。

研究成果の概要（英文）：The program development abilities acquired by mid-career municipal public health nurses includes two main things . The first is the ability to reason about the need and the content of the program. The second is the ability and skill to action the program. To improve the ability to reason about the need and the content, to improve the ability to foresee the health risk and the ability to think about community's autonomy and progress are important. And practicing the overall process of policy implementation from a position of fixed responsibility is important to improve the second ability and skill.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成20年度	900,000	270,000	1,170,000
平成21年度	600,000	180,000	780,000
平成22年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
総計	2,000,000	600,000	2,600,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・ 地域・老年看護学

キーワード：保健師、施策化、実践能力、中堅、地方自治体

1. 研究開始当初の背景

(1)市町村に所属する中堅保健師の施策化に関わる実践能力を育成するプログラムの開発が必要である根拠

行政に所属する保健師の専門性は、対象別・年代別ではない全ての地域住民の実態を俯瞰的総合的に判断でき、予測的に健康課題を捉え、施策に反映させることができるとこ

ろにあると考える。しかしながら、近年の保健医療福祉に関する法律制定・改正の中、現場の業務の変化は著しく、保健師が自らの専門性とは何かを模索している姿が、先行研究を通して見えてきた。また、老人保健法制定以降、法律で定められた事業を行うことが活動の中心となり、若手保健師の「必要性に突き動かされる感覚の少なさ、ゼロから施策化

に挑戦する意欲の低さ」という課題も明らかになった。地域保健・老人保健事業報告（厚生労働省）によると、平成10年度から平成16年度の間には保健師の家庭訪問件数は約70%に減少している。保健師は地域に出向くことが減少し、かつ、業務分担制の進展や、非常勤職員及びアウトソーシングの活用が進む中、地域の実態に即した保健活動の施策化にはこれまで以上の工夫や実践能力が必要になると考える。

(2)保健師の施策化に関わる研究の現状と課題

上記のような課題に対し、本研究で定める施策化の実践能力を向上させるには、行政職員と同様の予算獲得等に関わる施策化能力だけではなく、個人・家族への個別援助を基盤とした看護実践能力を同時に高めることが必要と考える。さらに、研修等の教育プログラムのみではなく、通常業務遂行におけるシステムづくり等、環境的条件を同時に整える必要があると考える。

保健師の施策化に関する知見は、施策化の能力、評価視点、判断内容、戦略やスキルなどがそれぞれ明らかにされつつあるが、保健師の施策化に関わる能力の育成方法に関する研究はほとんどみられない。また、平成12年に保健婦現任教育研究会から職場内教育に関するガイドブックが示されているが、環境的条件の整備までを含め、中堅保健師の実態や課題に基づいて、中堅保健師の施策化に関わる実践能力育成のプログラムを明らかにした知見は現在のところ見当たらない。

2. 研究の目的

(1)研究の全体構想

本研究は、行政に所属する保健師が、その特質を活かし、地域住民のニーズに依拠した事業の立案・施策化を行う役割を一層発揮するための一方策として「市町村に所属する中堅保健師の施策化に関わる実践能力を育成するプログラム」を明らかにすることを目的とする。

本研究では、行政の中でも地方分権によって一層の施策化能力が求められている市町村に所属する保健師を対象とし、さらに次世代のリーダーとして今後の役割発揮が期待される中堅保健師に焦点をあてる。市町村に所属する中堅保健師の施策化に関わる実践能力が向上することにより、保健福祉行政サービスの質、そして地域住民の健康生活の質が向上することをめざす。

(2)研究の具体的な目的

本研究の目的は、市町村に所属する中堅保健師の施策化に関わる実践能力を育成するプログラムを開発することである。

(3)用語の定義

〈施策化に関わる実践能力〉

看護専門職である保健師が行う施策化の特質は、単なるインタビューや統計調査等では得ることができない、個別の看護援助を通してこそ把握できる住民の真のニーズを基に、施策を実現できる場所にあると考える。一方、わが国の保健医療福祉に関する政策は、介護保険法の制定・改正や健康保険法の改正など大きな転換を重ねており、現在の地方自治体は、政策転換に伴う数々の計画策定・施策化が求められている現状がある。

従って、本研究における施策化に関わる実践能力とは、地域独自のニーズに基づく対策と、国の政策転換の動向とを融合させて施策を実現させることを可能とする、看護実践能力と行政職員としての施策化能力とを兼ね備えた実践能力とする。

3. 研究の方法

(1) 中堅保健師の施策化に関する実態の明確化を目的とした調査

①調査対象：施策化の経験の有する市町村に所属する保健師経験年数6年以上20年以下の中堅保健師14名。

②調査方法：半構造質問紙を用いた面接調査。

③調査内容：

基本的項目；保健師経験年数、所属部署（就職～現在まで）、現在の所属・職位、所属市町村の人口。

施策化に関する基本項目；いつ頃、どの部署で、どのような立場で（主担当者、スタッフの一人として等）、どのような施策化を行ったことがあるか。

施策化の経験に関する項目；施策化の過程で実施した行為の内容・意図したこと、周囲から得た助言・サポート、自己学習したこと、自身の経験から施策化を実践するために必要な条件と考えるもの、課題と感ずること。

施策化の経験により獲得した技術・能力に関する項目；施策化の経験によって身につけることができたと思う技術・能力、自身の経験から施策化を実践するために必要となる技術・能力と考えるもの。

④分析方法：質的記述的な分析方法を用いた。

⑤倫理的配慮：調査にあたり、対象者に口頭と文書にて研究の趣旨、協力を得たい内容、守秘性・研究参加の任意性の確保について説明し同意を確認した。調査により知り得た情報の取り扱いに注意し、本調査の目的以外には使用せず、報告書への記載は個人が特定できない方法を用いた。

(2) 施策化に関わる能力育成の取り組みを先駆的に実践し効果を挙げている市町村及び都道府県を対象とした調査

- ①調査対象：施策化に関わる能力育成の取り組みを先駆的に実践し効果を挙げている2市町村及び1都道府県に所属する、取り組みの責任的立場にある保健師
- ②調査方法：半構造質問紙を用いた面接調査。
- ③調査内容：取り組みの目的、対象、方法、内容、効果・成果、課題。
- ④分析方法：質的記述的な分析方法を用いた。
- ⑤倫理的配慮：調査にあたり、対象者に口頭と文書にて研究の趣旨、協力を得たい内容、守秘性・研究参加の任意性の確保について説明し同意を確認した。調査により知り得た情報の取り扱いに注意し、本調査の目的以外には使用せず、報告書への記載は個人が特定できない方法を用いた。

4. 研究成果

(1) 施策化に関わる市町村中堅保健師に必要な能力

施策化に関わる市町村中堅保健師に必要な能力として以下の6つが明らかになった。すなわち、①地域の実情を基に政策や社会の動向を踏まえて施策を考える能力、②長期的な視野で目指す姿を創造的に考える能力、③目標や効果を常に意識・重視する能力、④統計や行政事務に関する技術、⑤調整や連携・協働に関する交渉力・関係構築力、⑥主体的積極的な実践を生み出す精神力、である。そして、前者の3つは「施策の必要性や内容を考える思考力」、後者の3つは「施策の考案や実現を可能にする手段的技術と実行力」に大別されると考えられた。さらに、「施策の

必要性や内容を考える思考力」が基盤となり「施策の考案や実現を可能にする手段的技術と実行力」が加わると、施策の実現が可能になると考えられた。

(2) 施策化に関わる市町村中堅保健師に必要な能力獲得に関する条件

施策化に関わる市町村中堅保健師に必要な能力獲得に関する条件として以下の5つが明らかになった（図1）。

- ①全ての能力の獲得には「施策化全体のプロセスを一定の責任をもつ立場で実践する」ことが最も関係し、さらにその実践を可能にするには「組織や上司の判断」と「中堅保健師自身が機会を活かすための行動を起こすこと」が関与する。
- ②目標や効果を常に意識・重視する能力と統計や行政事務に関する技術の獲得には「他者からの助言・指導」が関係する。
- ③地域の実情を基に政策や社会の動向を踏まえて施策を考える能力と長期的な視野で目指す姿を創造的に考える能力、及び調整や連携・協働に関する交渉力・関係構築力の獲得には「日常の保健師活動経験」が関係する。
- ④長期的な視野で目指す姿を創造的に考える能力と主体的積極的な実践を生み出す精神力には「保健師としての使命感」が関係する。
- ⑤主体的積極的な実践を生み出す精神力には「周囲からのサポート」と「他の施策化に関わる技術・能力の獲得」が関係する。

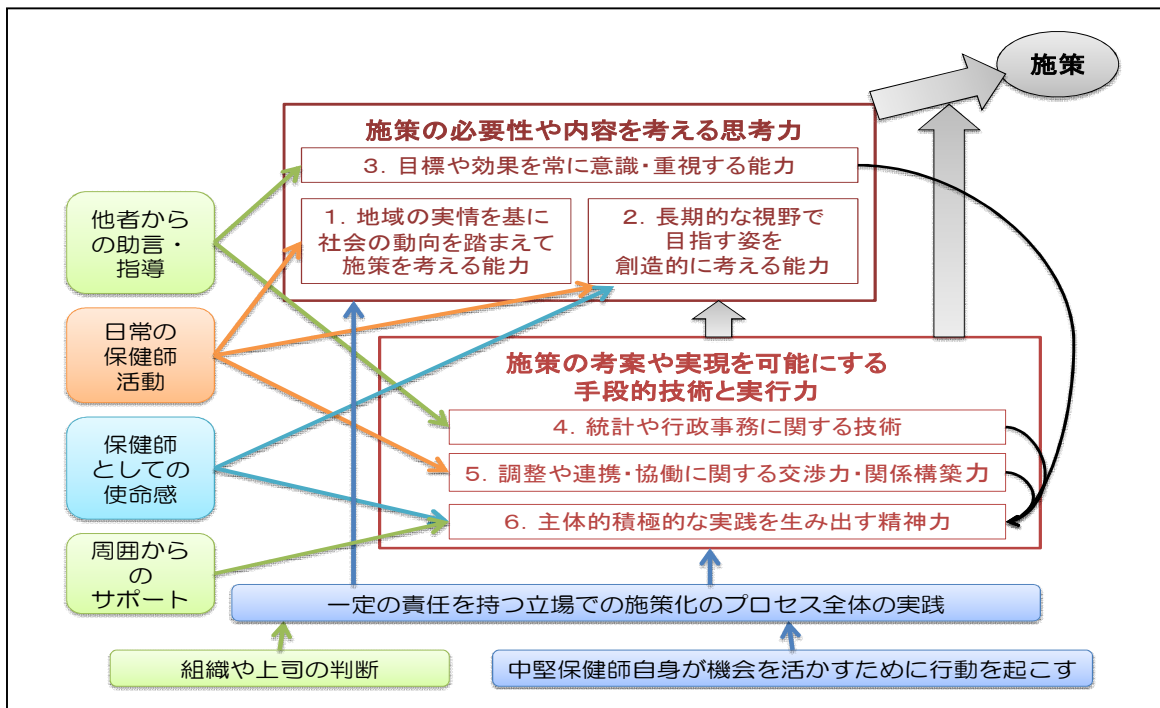


図1 施策化に関わる市町村中堅保健師に必要な能力と能力獲得の条件との関係

(3) 市町村に所属する中堅保健師の施策化に関わる実践能力を育成するプログラム

施策の必要性や内容を考える思考力については、対策を講じなかった時のヘルスリスクの重大性を予測する力と自律性発展性を重視した地域のシステム構築を志向する力の育成が特に重要である。これらは公衆衛生看護職としての基盤となる能力であり、育成は中堅期からではなく初任期中から日常の個別支援及び地区活動においてOJTにより行うことが有効である。この際、保健師同士や住民との対話によって自ら学びや気づきを得るプロセスを意図的に確保することが必須である。

施策の考案や実現を可能にする手段的技術と実行力の育成には、中堅保健師が一定の責任を持つ立場で施策化を実践する機会を確保することが最も有効であり、そのためには教育的意図をもった配属・分掌が必要である。さらに、実践の過程において他者から助言指導や支援の得ることが重要であり、そのためには教育的支援的な環境の整備とともに中堅保健師自身の積極性や行動力が必要になる。中堅保健師の積極性や行動力は施策の必要性の認識に度合いに連動する。

以上を踏まえることが、市町村に所属する中堅保健師の施策化に関わる実践能力を育成するプログラムの作成において重要となる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計1件)

- ① 細谷紀子、市町村中堅保健師が獲得している施策化に関わる技術・能力とその獲得に影響を与えた経験の特徴、千葉看護学会会誌、15(2)、9-17、2009、査読有

[学会発表] (計2件)

- ① 細谷紀子、市町村中堅保健師が獲得している施策化に関わる技術・能力の特徴とその獲得に影響を与えた経験の内容、第13回日本地域看護学会学術集会、平成22年7月10日、北海道札幌市
- ② 細谷紀子、市町村に所属する中堅保健師の施策化に関する実態、第68回日本公衆衛生学会総会、平成21年10月22日、奈良県奈良市

6. 研究組織

(1) 研究代表者

細谷 紀子 (HOSOYA NORIKO)

千葉県立保健医療大学・健康科学部・講師
研究者番号：60334182